

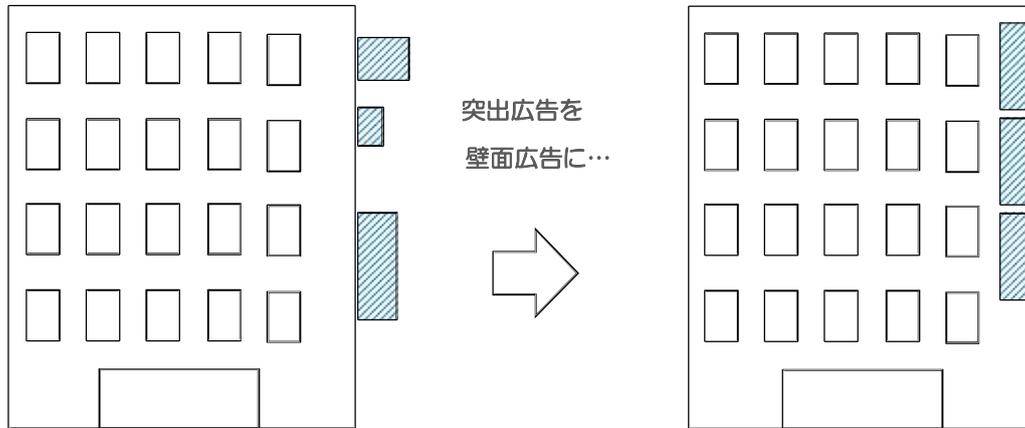
## 3. 突出広告

■掲げる ■揃える

### デザインの Point

- ◆ 突出広告は、建物から突出する事により沿道景観への影響が大きく、煩雑な景観を生み出しやすい事から、設置を控え、壁面広告とするなどの工夫をしましょう。
- ◆ 突出広告を設置する場合は、大きさや色彩を工夫し建物や周辺環境に与える影響を抑えましょう。
- ◆ 複数設置する場合は、大きさ、設置位置等を揃えるなど配慮しましょう。

建物から大きさや形状が不揃いな広告が突出することで、沿道景観が煩雑になりやすいことから、壁面を活用して設置することも検討してみましょう。



### ▼ 大きさを揃えて壁面に掲示した例 ▼



大きさや位置を揃えて壁面に掲示することで、突出広告と同等の効果を発揮し、沿道の景観や建物のデザインと調和した広告となっている



## 掲げる

突出広告は、沿道景観に影響を与えやすいことから、建物と一体となったデザインとし、色彩や素材を工夫することで魅力的な広告となります。



広告の色に壁面と同系色の茶系を使用したことで、建物ファサードと一体感のあるデザインとなっている



素材や形状を工夫することにより、存在感のある広告となり店舗の魅力を高めている

## 揃える（大きさ・配置）

突出広告を複数設置する場合は、大きさや配置を揃えることで、統一感のある分かりやすい広告となります。



色彩やデザインを揃えているため、統一感があり見やすい広告となっている



あらかじめ建築物の袖壁と広告を一体的に計画することで、建築のデザインと調和した広告となっている

突出広告は、人や車で賑わう沿道の建築物に設置することから、色や大きさを揃えるなど、見る人にとって分かりやすいデザインを心掛けましょう。

那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニュアル  
の体系について

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

突出広告

野立広告

その他広告

活  
用  
編

## 4. 野立広告

■揃える ■集める ■緑との組み合わせ

### デザインのPoint

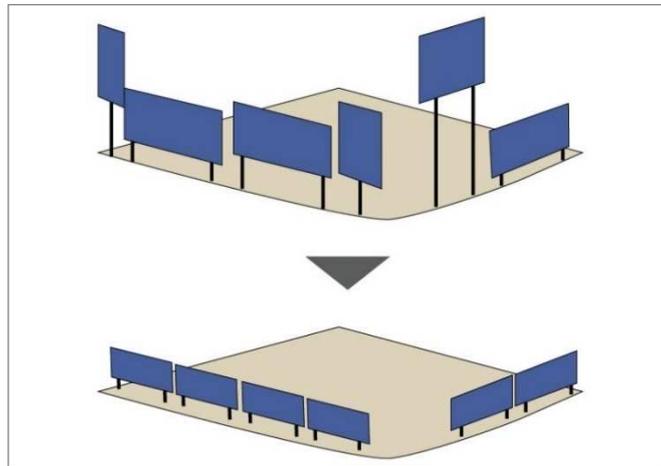
- ◆ 複数の広告が集合または隣接する場合、大きさや配置を揃えましょう。
- ◆ 集約化させ、必要最低限の設置数としましょう。
- ◆ 緑との組み合わせによる誘目性を活用し、周辺景観に与える影響を抑える工夫をしましょう。

### 揃える

複数の広告が集合、隣接する場合は大きさや配置を揃えることで、統一感があり見やすい広告となります。



フレームの色彩や幅が統一されていることから、見やすい広告となっている



大きさや配置を揃えることで煩雑な印象を抑えることができる

### 集める

複数店舗が入居するビルの野立広告は、一つにまとめることで、煩雑な印象を抑え、見る人にとっても分かりやすい広告となります。



広告物の地色や文字等の色数を抑え、シンプルにまとめられていることから、分かりやすく見やすい広告となっている

## 緑との組み合わせ

緑と組み合わせることにより、見る人の目を引き付けます。また、歩行者にとって快適な空間を提供することで企業や店舗のイメージアップにもつながります。



歩道沿いに設けられた緑化スペースが、良好な歩行者空間をつくりだし、広告物を引き立たせる効果も発揮している



緑と組み合わせることにより、見る人の目を引き付ける広告となっている



野立広告は、人や車で賑わう沿道に設置されることから、ある程度離れた位置からでも認識されやすい広告物となり、沿道景観への影響が大きくなります。緑と組み合わせたり、複数の広告物は形状や色彩を揃えたりするなどの工夫をすることで、魅力的な広告となり店舗のイメージアップにもつながります。

那覇市の  
景観ビジョン

デザインマニアル  
の体系について

序  
章

屋外広告物の安全性  
確保と維持管理

より良い広告物  
とするために

屋上広告

壁面広告

種別デザインマニアル  
突出広告

野立広告

その他広告

活用  
編

## 5. その他広告



### 街灯柱を利用する広告（バナー広告）

街灯柱などに吊り下げるバナー広告は、通りの景観への影響が大きいことから、情報発信だけを目的とせず、通り全体で統一感のあるデザインとすると共に、通りの活気や賑わいづくりに配慮したデザインとしましょう。



配色や形状に共通性を持たせることで、リズム感を生み出し、通りの賑わいを創出しているバナー広告となっている

【出典: signs(一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会)より】

### 広告旗（旗、のぼり等）

広告旗は、イベント等で、通りの活気や賑わいづくりのために活用されます。しかし、周辺景観への影響が大きいことから、色彩に共通性を持たせる、設置の間隔を統一するなど、通り全体で統一感のあるデザインとなるよう心掛けましょう。



通りのイメージを象徴するような配色、統一されたデザインであることから、賑わいを生み出し、来訪者を導く役割も果たしている

【イメージ写真: 壺屋やちむん通り VR(バーチャルリアリティ)より】